

目 次

調査の概要 -----	1
調査の結果 調査結果の解説 -----	10
1 県民意識調査 -----	10
(1) 県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと -----	10
(2) お土産や贈答品として選ぶ県産品 -----	13
(3) 障害を理由とする差別や偏見の有無 -----	16
(3-1) 障害を理由とする差別や偏見がある場面 -----	18
2 災害ボランティア等について -----	21
(1) 市民活動団体の活動やボランティア活動への関心度 -----	21
(2) 令和5年、令和6年に発生した災害での災害支援活動の参加経験 ---	23
(2-1) 参加した災害支援活動の内容 -----	25
(3) 今後の災害支援活動への参加意向 -----	28
3 消費生活について -----	31
(1) 消費者トラブルにあった際の「安心して相談できるところ」の有無 -	31
(2) 消費者トラブルにあった際の「いつでも相談できる人」の有無 -----	33
(3) 悪質商法に対する考え -----	35
(4) 本人または身の周りでの悪質商法被害の発生有無 -----	37
(4-1) 被害にあった方の年代 -----	39
(4-2) 被害の内容 -----	41
(5) 消費者教育の機会に対する考え -----	43
(6) 生活必需品の安定的な供給体制や安全性に対する不安の有無 -----	45
(7) 買い物をする際の「エシカル消費」の意識の有無 -----	47
4 有機農業について -----	50
(1) 有機農産物に対するイメージ -----	50
(2) 有機農業により生産される農産物の購入頻度 -----	53
(2-1) 有機農産物購入理由 -----	55
(3) 有機農産物の今後の購入意向 -----	58
(4) 有機農産物に今後期待すること -----	60
5 県民の治安に対する意識と警察に求めることについて -----	64
(1) お住まいの地域の犯罪発生状況 -----	64
(2) 自身や身近な人が巻き込まれる危険性に不安を感じる犯罪 -----	66
(3) 警察に力を入れて取り締まってほしい犯罪 -----	70
(4) 安全で安心できる生活を守っていくために必要なこと -----	74

6	働きやすい職場環境づくりについて-----	79
	(1) 職場での働きやすさ -----	79
	(1-1) 働きにくいと感じる理由 -----	81
	(2) 事業者の取組で重要だと思うこと -----	84
	(3) ハラスメントの認知度 -----	87
	(4) ハラスメント防止に向けた取組で重要だと思うこと -----	92
7	困難な問題を抱える女性への支援について-----	96
	(1) 「千葉県困難な問題を抱える女性支援基本計画」の認知度 -----	96
	(2) 困難な問題を抱えた際の相談先 -----	98
	(2-1) 困難な問題について相談しない理由 -----	101
	(3) DV被害等にあった場合のシェルター入所へのためらいの有無 -----	104
	(4) シェルターに入所することをためらう理由 -----	106
	(5) 困難な問題を抱える女性への行政の支援で必要なこと -----	109
8	地域リハビリテーションについて-----	112
	(1) 「リハビリテーション」の言葉のイメージ -----	112
	(2) 「社会的な障害（バリア）」の増減 -----	115
	(3) ケガや病気の際にリハビリを受けられる医療機関の充足度 -----	119
	(4) 障害のある人や高齢者の相談場所、相談の有無 -----	121
	(4-1) 災害時の不安や困りごとの相談先 -----	123
9	自由回答-----	127
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	132